

高槻 まちかど遺産 H25-16

本照寺 富寿栄の松を支えた石柱 

本照寺には、かつて「富寿栄の松」という樹齢約700年に及ぶマツの大木が、境内を覆うほど枝を広げ、国の天然記念物に指定されていました。残念なことに昭和43年(1968)に枯れてしまいましたが、境内には大きな切り株のほか、枝を支えた石柱が残され、かつての面影を伝えています。石柱の上面が丸く窪んでいるのは、枝の形に合わせたためです。現在境内では、富寿栄の松の「子孫」にあたるマツが育っています。



かつての富寿栄の松

平成 26 年 3 月 高槻市教育委員会

### 本照寺富寿栄の松を支えた石柱

本照寺には、かつて「富寿栄の松」という樹齢約 700 年に及ぶマツの大木が、境内を覆うほど枝を広げ、国の天然記念物に指定されていました。

残念なことに昭和 43 年 (1968) に枯れてしまいましたが、境内には切り株のほか、枝を支えた石柱が残され、かつての面影を伝えています。石柱の上面が丸く窪んでいるのは、枝の形に合わせたためです。

現在境内では、富寿栄の松の「子孫」にあたるマツが育っています。

平成 26 年 3 月 高槻市教育委員会



旧本堂の獅子口と  
富寿栄の松の根本



本照寺御堂内  
富寿栄の松の幹の火鉢